

秘

内閣情報部九二九 情報第一號

成都中央通信社新聞電報放送 (二十五日)

重慶報

(朝鮮總督府遞信局轉取)

「日本は對支戰に二ケ年を費し、消耗點に近づいてゐるから、近き將來支那に於て日本側の大規模な攻勢はないだらうし又あり得ないだらう」と李宗仁將軍が言明した。徐州と漢口防衛戰で名を擧げた李宗仁將軍は目下重慶訪問中で、合同飛行機輸送會社及支那發動機會社の代表者W・V・ガラコフのお客となつてゐる。李宗仁は日本側が大規模な攻勢を開始し得ない理由を示した即ち開戰以來日本は豫想を遙かに超へた死傷者を出した、今次の戰爭に於ける人力の損耗は日露戰爭及一八九四―五年の日清戰爭よりも大である。日本は全く支那側戰國力の評價を誤まつた、日本は戰爭の第二段階に於て第一段階に於けるよりも遙かに大なる困難に直面してゐる、日本軍の士氣は衰へて反戰感情は瀰漫しつゝある、具体的事實より支那當局は結論した、日本は、即戰即決、作戰に失敗し、次の、即和即決の作戰に失敗したと。「汪精衛の重慶離脱は我々の抗戰に影響しなかつた」。占領區域至る所の日本軍は後方にあつて日本軍の内陸進撃を不可能ならしめてゐる支那軍の活動によつて甚大な死傷者を出してゐると。

内閣閣報部九・二九 閣報第二號

ツエーゼン獨語放送(二十七日)

(東京都市通信局聴取)

一、獨乙國防軍最高司令部發表

獨軍は波軍第四十一師團及騎兵團を捕虜とした。ワルソーは全く要塞化し、一戸として保壘ならざるはない、ワルソーの第一及第二防衛線は陥落した、獨逸は寛大なる措置を取るべく再び開城を勸告した。しかし今以て回答に接しない。

西部戦線に於ては依然小衝突を繰返せるのみ、フライブルグ及ジグマリンゲン上空に於て敵空軍機二臺が墜落された。

一、獨重爆撃機及潜水艦は英艦隊を反復攻撃し多大の戦果を収めた。

一、リッペントロップ獨外相は今朝駐獨ソ聯大使と同道モスクワへ向つた土外相もソ聯政府よりの招請に應じモスクワに到着した、英國は之が爲戦々兢兢としてゐる。

一、ムツソリーニ首相こそ世界平和の監視者である、彼は全中立諸國の代表者なりと稱せられてゐる、中立國が云はんぞ欲してゐる處の事は殆どム首相が云つて呉れてゐる。

一、獨Uボイドの威力は英國の經濟に既に多大の影響を與へ、ロンドンでは之が爲種々の工場は